

# 静岡市立富士見小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年6月8日(木)



展示の見学

6月8日(木)静岡市立富士見小学校6年生の皆さんが来所しました。展示室を見学したあと、三つの古代体験に挑戦しました。展示室の見学では、教科書でしか見たことのない本物の石器や土器、想像よりも大きい銅鐸に驚いたようでした。古代体験では本物に触れての体験にやや緊張気味で、真剣に取り組んでいました。きっと、この体験から古代の人の暮らしを想像することができたのではないのでしょうか。

## ◎火起こし体験



天候も最悪の雨、実際に挑戦してみると、火起こしは大変でした。説明のように上手に火はつきません。しかし、みんな協力し、コツをつかむと次々に火種ができ、ついに、火がつきました。

古代の人々も、きっと苦勞して火を手に入れていたことを感じることができました。

## ◎土器の分類体験



縄文土器・弥生土器  
須恵器の違いを観察  
しながら分類を体験

しました。土器の破片とはいえ、本物の土器に実際に触れて、模様や色の違いを体感することができました。

## ◎黒曜石で試し切り体験



石器がとてもよく切れることを体験しました。

黒曜石を使って、紙や野菜を実際に切ってみました。本当によく切れました。また、昔の人々は鋭く尖る石(黒曜石:自然のガラス)を探し、遠く長野や伊豆諸島(神津島)の方から運ばれた石材もあることに驚きました。